

自然エネルギー信州ネット 平成 27 年度第3回運営会議 議事録

開催日時: 2016 年 1 月 24 日(日)13:00~14:30

開催場所: 松本市市民活動サポートセンター

出席者(敬称略):

茅野(会長)、平島、田村、合原、茅野(恒)、(以上理事)沖野(監事)、浦崎(長野県)
宮入、小田切、小林(以上事務局)、会員 8 名

議事録作成:小林

議長: 平島

開会挨拶:茅野会長

議題、資料の確認:宮入

議題と議事

1) 自然エネルギー信州ネットの新たな運営の方向性について:報告と提案(資料 1)

平島議長より、2015 年 10 月 18 日の臨時総会以降に理事・事務局・県によって検討された新たな運営の方向性について報告と提案があり、これについて意見交換を行い、方向性を提案のとおり確認した。

■意見交換

(沖野):資料に担当理事は当面導入しないとなっているが、地域協議会には担当理事を決めるとある。矛盾していないか?

(平島):理事が各地域協議会を分担して活動状況を把握するという意味だが、同じ言葉を使うのは適切ではないので「窓口」という意味合いの言葉に変更する。

2) 専門部会の今後のあり方について

①各専門部会長より今後の活動計画(資料 2-1)

5つの専門部会より、次年度の活動について提案があったが、まだ具体的な計画段階のものではない。専門部会の活動においても(プロジェクトチーム同様に)、達成目標と行動計画があるべきなので、3月開催予定の運営会議まで、活動計画を具体化できるよう理事からもアプローチする。

②プロジェクト提案について(資料 2-2)

今回募集はしたが、この後のパワーアップミーティングで初めて会員に提案がされる段階で、まだ具体的には何も決まっていない。プロジェクトチームは規約上、専門部会として位置づける。チームとして立ち上げるかどうかは、パワーアップミーティングを経て、提案が実行に移せそうかを理事内で検討し、3月に開催予定の運営会議で報告する。プロジェクト立ち上げにあたってのルールが必要な場合は、規約に盛り込む。

■意見交換

(小田切):プロジェクトチームの募集は今度も行っていいのか?

(合原):プロジェクトチームは随時提案を募り、受け付けることができる。応募の際は、今回使用した提案シートを提出していただくことにすればよい。

(茅野(恒)):プロジェクトチームについて改めて確認しておきたい。プロジェクトチームを立ち上げる方針をとることになったきっかけは「たむらぐみ。」の報告と提案である(2015.10.18 総会資料 1)。これまで2回のパワーアップミーティングを経た結果、エネルギー種別型の専門部会以外に、会員が主体となって中短期的な課題を解決するためのプロジェクト型の活動が必要との認識に至った。期限と目標を決めて、機動的に活動できるのがプロジェクトで、専門部会の活動も本来そうあるべきだということも確認しておきたい。

■決定事項

- ・ 政策調査部会、太陽光部会、グリーン熱部会、小水力部会、バイオマス部会は存続。
マネジメント部会、ファイナンス部会は解消する。
- ・ 各専門部会の次年度活動計画を、次回の運営会議までに策定する。
- ・ プロジェクトチームの立ち上げについては、今日のパワーアップミーティング3の結果を踏まえ、理事内で検討し、次回の運営会議までに決定する。
プロジェクトチームは規約上、専門部会的一种として位置づける。
- ・ プロジェクトチーム立ち上げの提案は今後も随時受け付ける。

3)各地域協議会との連携について

～地域協議会代表者からの意見、提案～

■意見交換

(浦崎):今日は、地域協議会の代表者もお集まりいただいている。窓口理事からの報告を含めて、それぞれの活動状況を報告していただいているか?

— 各地域協議会代表者、理事からの状況報告 —

(ネットワーク型)

1. 自然エネルギー長野北信地域協議会 (宮入)

2015年度はエネルギー種別ごとのセミナーや七味温泉へのバイナリー発電視察会を開催。また、観光振興への自然エネルギーの可能性について検討会も開催した。2月13日に2015年度7回目の会合を開催予定。長野、北信地方事務所も協議会に入っており、行政との情報交換を行っている。

2. 自然エネルギー大北地域協議会 (田村)

シンポジウムに一度お邪魔した。現状では信州ネットと連携していない。事務局は北安曇地方事務所環境課。連携がとれば情報交換ができるのだが。

3. 自然エネルギー上小ネット (末広)

情報交流会、セミナーなど開催している。上小ネットには分科会もあり、エネルギー種別に取り組んでいる。

4. 自然エネルギーネットまつもと（平島）

毎月運営会議を開催している。2016年は松本市と組んで何かできればと考えている。

5. 自然エネルギー佐久地域協議会（小野、合原）

活動は主に、出張授業、地域のエネルギーフェアの参加。協議会には佐久市、佐久地方事務所が入っているので情報交換ができる。しかし、参加数が少ないため活動の幅がなかなか広がらない。新興マタイさんが事務局を担っており、協議会の体制はしっかりしている。

6. 自然エネルギー信州ネットSUWA（沖野、宮坂、平島）

イベント、展示会が主な活動。2016年もこのような活動を行っていく予定。遊びからエネルギーに関心をもってもらえればと考えている。「エナジーパーク」という拠点づくりに取り組んでいる。

7. 上伊那地域自然エネルギー普及協議会（茅野(恒)）

まだお邪魔したことはないが、事務局の寺澤さんと連絡を取りあっている。2015年度はセミナーなどを実施している。

8. 自然エネルギー木曾地域協議会（西谷）

環境フェアを開催したが、参加者数が少なかった。ワークショップなどを開いて今度の方向性(法人化を含め)を考えたい。

9. 木祖村自然エネルギー協議会（西谷）

マイクロ水力発電の設置計画が進められている。

10. 南信州自然エネルギー普及協議会（茅野(恒)）

元気づくり支援金を活用した講演会、フェアなどを開催している。

（特定事業型）

1. 木島平村小水力発電協議会（茅野(恒)）

村役場が事務局。連絡はとっている。

2. 長野市自然エネルギー普及協議会（宮入）

ペレットストーブのリース事業をLLPクラウドエナジーで実施。長野市や温暖化防止センターと連携して事業を続けている。

3. iitoki トランジション長野地域協議会（小田切）

環境省の受託事業で立ち上げた協議会。鬼無里の薪を戸隠、飯綱で活用するための事業スキームを検討した。現在はLLP 鬼無里薪ステーションが立ち上がり、信州パートナーズが薪ボイラーの展開事業を行う事で継承しているため、協議会は実質的に解散でも支障はない。

4. 太陽エネルギー推進協議会（茅野(恒)）

事務局が株式会社サンジュニア。学校など公共施設の屋根を活用した太陽光発電事業を展開している。2月に会議があるので、参加できればと考えている。

5. ゆ〜ぶる木崎湖エコアップ協議会（小田切）

NPO 地域づくり工房、傘木代表にヒアリングをしたところ、2014年3月末をもって活動休止。エコアップ事業計画を大町市が受け入れて実施するということになり、休止したが実際には何も動いていない状況とのこと。

6. 富士見自然エネルギー推進協議会（小田切）

活動状況を確認しているが返事がない。

(沖野): 富士見のメガソーラー事業は実現せず、協議会活動は終了している。

7. 自然エネルギー市民参加モデル研究協議会（合原）

市民信託の法令や制度について研究。NPO 上田市民エネルギーとともに継続的に普及活動を続けていきたい。

8. 自然エネルギー茅野地域協議会（茅野(恒)）

連絡をとりあっている。2 月中にお邪魔できればと考えている。

4) 会員動向(資料 3)

事務局より、2015年12月現在の会員数について、2013年度末、2014年度末と比較し増減状況の説明を行った。

5) 連絡事項

事務局より、以下のイベントの実施報告と開催告知を行った。

- ・銀座 NAGANO での交流会(2016/1/11 実施済)
- ・SUWACO Labo 事業成果発表会(2016/2/11)
- ・飯田自然エネルギー大学キックオフイベント(2016/2/14)

4. 閉会

以上。